

松山スマートシティプロジェクト（松山スマートシティ推進コンソーシアム）

■都市課題

歩いて暮らせるまちづくりの実現

■解決方策

データ駆動型都市プランニング確立
・都市政策へのデータ利活用
（スマート・プランニング）
・データに基づく効果的な整備

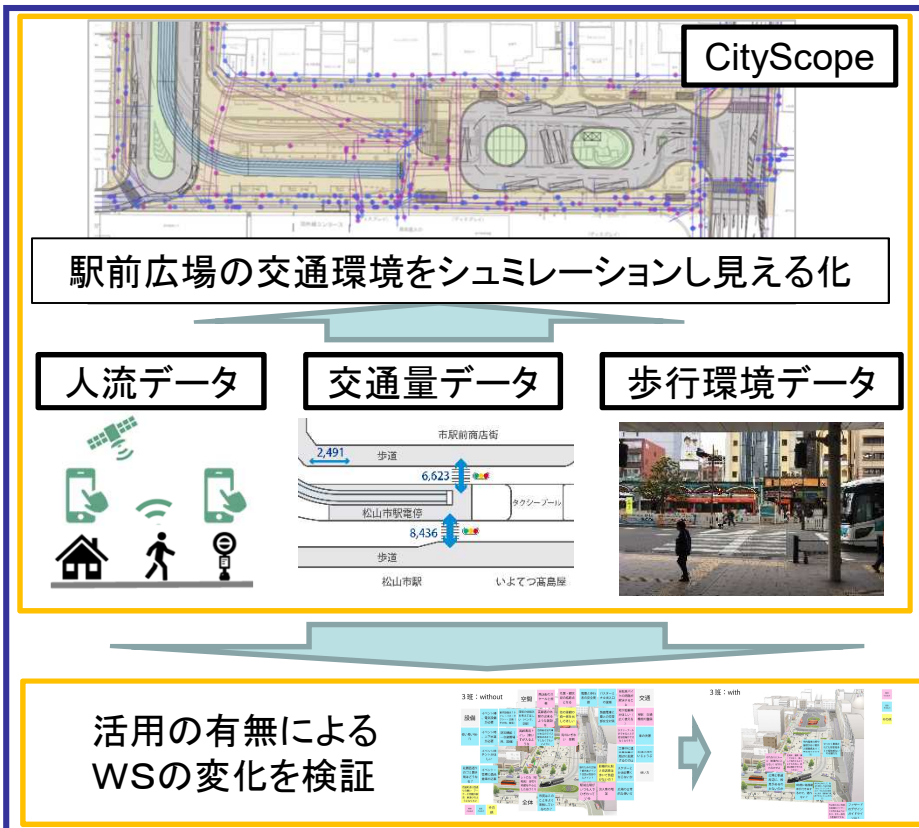
■KPI

スマート・プランニングへの適用件数
0件(H30)⇒3件(R3)
データ活用分野
0件(H30)⇒5件(R6)

■実証実験の概要・目的

多様なデータを高度に分析し、見える化等を行う「データ駆動型都市プランニング」を、住民の合意形成のワークショップで活用し、合意形成や、施設整備検討への効果を検証する。

■実証実験の内容



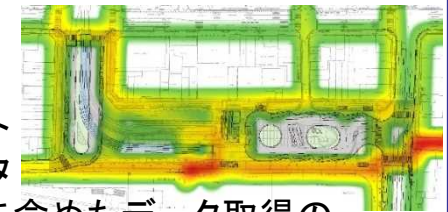
■実証実験で得られた成果・知見

（CityScope活用の成果・知見）

- 人の流れを見ることで、整備レイアウトの違いを細部までイメージしやすくなり、様々な気づきにつながった。
- 議論の焦点が定まり、施設設計の合意に向け有用な具体的な議論になった。

（課題）

- 今回は関心の高いイベント時や賑わいに関するデータを対象外としたが、これらを含めたデータ取得の手法や簡素化、コスト軽減が課題となる。



■今後の予定

- データの集約や蓄積にかかる個別作業を減らし共通的に利用できるデータ変換機能などを追加
- シミュレーションで、人の移動量の再現精度を向上
- 次世代モビリティサービスの導入案を検証するため、実空間での実験を検討・実施